

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第2号 平成27年3月14日

初回、二回の攻撃が得点に繋がる・・・

先発政司、二番手林の好投で序盤のリード守る！

	1	2	3	4	5	6	7	8	R
G	1	2	0	0	0	0	0	0	3
B	0	0	0	0	0	0	0	0	0



3/14(土)前節は、雨で流れ、今日が、今期初戦となった。その初戦を相模三川公園野球場に向き、ベイリースとのオープン戦を行った。メンバーが所要で遅れることから、我がチームの先攻でゲームは始まる。先頭に入ったのは哲也、放たれた打球は、三塁への凡打、しかし、これを野手が暴投とし、出塁した。二番のゴゴロの間に二塁へ進塁し、三番深沢の時に、PBで哲也は三塁へ進塁、この場面は、外野への飛球か、野手正面以外へのゴロ、そして深沢の打球は、センターに抜けるかと思っただ、野手の好捕で二死となったが、この間に哲也が生還し、先制点を挙げた。翌二回には、林が四球を選択し出塁、その後二者が倒れ二死一塁となったが、先頭の哲也が今日二個目の野手失策にて出塁、ここで、二番北島が左前に運び、一挙2人が生還し2点を追加した。投手を見てみると、マウンドに上がった開幕投手は政司、その政司は、三塁まで進塁を許すも、得点は許さず、4回を被安打3(内2つは内野安打)と四球2という内容で今期初勝利を収めた。また、二番手に上がった林も4回を投げ、無安打・無四球で今期初セーブを記録した。そんな中、中押し、ダメ押しと行ける場面もあったが、ここ1本が出ず、得点は3点止まりは、やや残念さが残る内容。しかしながら、投手の足を引っ張る失策は、チームゼロ、これは非常に納得のいく内容である。これから、連戦となっていくが、今チーム事情は火の車、そんな中、先ずは守備からリズムを作る、我がチームの野球を実践すると共に、今期のチームスローガン「考えよう」を実践し、来るべきゲームに備えたいと思います。